



活動Ⅱ クリスマス会・高遠チャレンジ・プラネタリウム鑑賞

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

クリスマス会でサンタクロースを囲んで記念撮影を行ったあと、「高遠チャレンジ」でゲームを行った。「どんぐり皿うつし」「シャトル投げ」「シャトルポイント」「片足バランス」の各種目はどれも大盛況で、記録更新を目指して何度も挑戦する参加者も多かった。また、プラネタリウム鑑賞は20分ごとに入れ替え制で行い、ゆったりとした時間を過ごすことができたという好評であった。

活動Ⅲ クリスマスケーキ作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

できあがりイメージをいちごや、パイナップルの飾りを切り、生クリームをホイップして、ケーキにデコレーションした。ビスケットにチョコペンで絵や文字を書いたり、皿にもデコレーションを施したり、家族で相談しながらケーキを完成させた。生クリームの泡立は電動ミキサーを使わず親子で協力して行った。最後は全員で完成したケーキを食べ、一足早いクリスマスを楽しんだ。



～参加者の声～

- ・リース作りではどんぐり松ぼっくり、リボンなどイメージを膨らませながら制作するのがとても楽しかったです。子どもが自ら選んで自由な発想で作れるのがとてもいいと思いました。
- ・リースの飾りをたくさん用意してくださってとても楽しかった。段ボールのミニリースで子どもが飽きることなく黙々と色を塗ったり、飾りつけをしたりして楽しんでよかったです。
- ・高遠チャレンジでは子どもも大人も夢中になり、真剣に参加できて楽しかったです。
- ・高遠チャレンジは親子で協力できる種目があって、親子の絆も深まった。
- ・ケーキ作りが家族毎自由に創作できて一番印象に残った。
- ・オリジナルケーキは子供にも扱いやすいサイズや子供用の包丁があり、自分で切って飾ってとても楽しそうに作っていました。
- ・スタッフが見守ったり、手助けしたりする姿が親として勉強になることが多かったです。
- ・みんなでクリスマスの歌を歌いたかった。また利用したい。友達にもすすめたい。
- ・子どもは人見知りなのですが友達ができたこと喜んでいました。なかなか知り合える機会のない人と友達になり貴重な体験になりました。

～成果と課題～

- クリスマスリースやケーキ作りでは参加者が工夫して、オリジナリティーある作品を作れたことで高い満足感を得られていた。またリースの材料に自然の素材が使えることを魅力として挙げており、自然の家ならではの活動ができた。事後に作品の鑑賞会を行うことで、家族同士の交流が深まった。
- 高遠チャレンジでは、大人も子どもも夢中になって「もう一回」と挑戦したり、応援し合ったりして体を動かして楽しむことができた。
- クリスマス会のお菓子（駄菓子）の配布について大人はなくてもよい、文房具が良いという意見があった。クリスマス会の内容の充実を求める声もあったが、時間的にタイトであるため、夜の活動全体を含め検討する。
- 体を動かす活動や屋外の活動を希望する声もあった。
- 未満児がいる家庭と小学生のみの家庭など、参加者の発達段階が大きく異なるため、ゆとりを持った活動時間や移動時間を確保する。
- リース作りのグルーガンの電源や延長コードの準備を事前に確実にやる。